1. 当事務及び事業に関する基本情報									
第4	第4 短期借入金の限度額								
当該項目の重要度、難易度		関連する政策評価・行政事業	行政事業レビューシート事業番号:0134						
		レビュー							

2.	2. 主要な経年データ								
言	平価対象となる指標	達成目標	基準値	X1年度	X2年度	X3年度	X4年度	X5年度	(参考情報)

3.	各事業年度の業務に	「係る目標、計画、	業務実績、年度評	価に係る自己評価及び	が主務大臣による評価			
	中期目標	中期計画	年度計画	主な評価指標	法人の業務等	 美績・自己評価	主務大臣による評価	
					業務実績	自己評価		
		第5 短期借入金	第4 短期借入金	A:難易度が高い計画	<主要な業務実績>	<評定と根拠>	評定 –	
		の限度額	の限度額	であったが順調に	短期借入金の借入はな	[—]	<評定に至った理由>	
		10億円	運営交付金の受	実施した。	った。	短期借入金の借入はなか	短期借入金の借入を行わなかったことから評価は行わない。	
		<想定される	入れが遅滞するこ	B:計画どおり順調に		ったため評価は行わない。		
		理由>	とを想定して、短	実施された。				
		運営費交付金の受	期借入金の限度額	C:計画どおり実施さ				
		け入れの遅滞	として10億円を	れず改善を要する。				
			計上した。	D:計画どおり実施さ				
				れず抜本的な改善				
				が必要と認められ				
				る。				

4. その他参考情報			

1. 当事務及び事業に関する基本情報								
第5	第5 不要財産等の処分に関する計画							
当該項目の重要度、難易度		関連する政策評価・行政事業 行政事業レビューシート事業番号:0134						
		レビュー						

2. 主要な経年データ								
評価対象となる指標	達成目標	基準値	X1年度	X2年度	X3年度	X4年度	X5年度	(参考情報)

3.	各事業年度の業務に	係る目標、計画、	業務実績、年度評	価に係る自己評価及び	が主務大臣による評価			
	中期目標	中期計画	年度計画	主な評価指標	法人の業務実績・自己評価		主務大臣による評価	
					業務実績	自己評価		
			第5 不要財産等	A:難易度が高い計画	<主要な業務実績>	<評定と根拠>	評定	_
			の処分に関する計	であったが順調に	なし	Γ—	<評定に至った理由>	
			画	実施した。		根拠:年度計画がないため	不要財産等の処分に関する年度計画がない	いため評価は行わない。
			なし	B : 計画どおり順調に		評価は行わない。		
				実施された。				
				C:計画どおり実施さ				
				れず改善を要する。				
				D:計画どおり実施さ				
				れず抜本的な改善				
				が必要と認められ				
				る。				

4. その他参考情報			

1. 当事務及び事業に関する基本情報									
第6	第6 重要な財産の譲渡等の計画								
当該項目の重要度、難易度		関連する政策評価・行政事業	行政事業レビューシート事業番号:0134						
		レビュー							

2	2. 主要な経年データ								
	評価対象となる指標	達成目標	基準値	X1年度	X2年度	X3年度	X4年度	X5年度	(参考情報)

3. 各事業年度の業務に係る目標、計画、業務実績、年度評価に係る自己評価及び主務大臣による評価											
中期目標	中期計画	年度計画	主な評価指標	法人の業務実績・自己評価		主務大臣による評価					
				業務実績	自己評価						
		第6 重要な財産	A:難易度が高い計画	<主要な業務実績>	<評定と根拠>	評定	_				
		の譲渡等の計画	であったが順調に	なし	Г — ј	<評定に至った理由>					
		なし	実施した。		・年度計画がないため評価	重要な財産の譲渡等に関する年度計画が	ないため評価は行わな				
			B:計画どおり順調に		は行わない。	V N₀					
			実施された。								
			C:計画どおり実施さ								
			れず改善を要する。								
			D:計画どおり実施さ								
			れず抜本的な改善								
			が必要と認められ								
			る。								

4. その他参考情報			

1. 当事務及び事業に関	する基本情報		
第7	第7 剰余金の使途		
当該項目の重要度、難易度		関連する政策評価・行政事業	行政事業レビューシート事業番号:0134
		レビュー	

2	2. 主要な経年データ								
	評価対象となる指標	達成目標	基準値	X1年度	X2年度	X3年度	X4年度	X5年度	(参考情報)

3.	各事業年度の業務に	こ係る目標、計画、業務実績	、年度評価に係る自己評価及び	ド主務大臣による評価			
	中期目標	中期計画	年度計画	主な評価指標	法人の業務実績	責・自己評価	主務大臣による評価
					業務実績	自己評価	
		第8 剰余金の使途	第7 剰余金の使途	A:難易度が高い計画であったが	<主要な業務実績>	<評定と根拠>	評定 -
		剰余金の使途は、業務運営	剰余金の使途は、育種素材の	順調に実施した。	平成29年度は剰余金の使途	[—]	<評定に至った理由>
		の効率化及び業務の質の向上	導入、機械及び車両の更新・修	B:計画どおり順調に実施された。	に充てる積立金はなかった。	・剰余金の使途に充てる積	剰余金の使途に充てる積立
		を図るための育種素材の導	理、施設の整備・改修、草地の	C:計画どおり実施されず改善を		立金はなかったため評価は	金はなかったため評価は行わ
		入、機械及び車輌の更新・修	整備・更新、情報セキュリティ	要する。		行わない。	ない。
		理、施設の改修、草地の整備・	関連システムの整備・改修、事	D:計画どおり実施されず抜本的			
		更新及び事務処理ソフトの導	務処理ソフトの導入等センター	な改善が必要と認められる。			
		入とする。	基盤の維持、強化を図るために				
			必要な経費とする。				

4. その他参考情報		

1. 当事務及び事業に関	する基本情報		
第8	第8 その他業務運営に関する事項		
当該項目の重要度、難易度		関連する政策評価・行政事業	行政事業レビューシート事業番号:0134
		レビュー	

2	2. 主要な経年データ								
	評価対象となる指標	達成目標	基準値	X1年度	X2年度	X3年度	X4年度	X5年度	(参考情報)

3.	各事業年度の業務に	に係る目標、計画、	業務実績、年度評	価に係る自己評価及び主務大臣に	こよる評価			
	中期目標	中期計画	年度計画	主な評価指標	法人の業務実績・	自己評価	主務大臣による記	平価
					業務実績	自己評価		
	第6 その他業務運	第9 その他業務	第8 その他業務	指標=「中項目の項目数×2」(満	<主要な業務実績>	<評定と根拠>	評定 B	
	営に関する重要事項	運営に関する事項	運営に関する事項	点) に対する「各中項目の点数の	○ガバナンスの強化 2/2(B)	ГВЛ	<評定に至った理由>	
			〈以下略〉	合計値」(合計点) の比率 各中項	○人材の確保・育成 2/2(B)		以下のとおり、下位の評価で	頁目である中項目
				目の評価点数の区分は以下のとお	○情報公開等の推進 2/2(B)	満点:14P(中項目7×	の合計点が B 評定の判定基準	售内(満点×8/10≦
				りとする。	○情報セキリュティ対策の強化	2 P)	合計点<満点×12/10)であった	こため。
				S評価:4点、A評価:3点、B	2/2(B)	合計:14P	満点:14点(中項目 7×2点)	
				評価:2点、C評価:1点、D評	○環境対策・安全管理の推進	14 P/14 P=1.0	合計点:14点=(2点×7)	
				価:0点	2/2(B)	(10/10)	14 点/14 点= 1.0	
				A:満点×12/10≦合計点	○施設・設備の整備に関する計画		○ガバナンスの強化	2点(B)
				B:満点×8/10≦合計点<満点	2/2(B)		○人材の確保・育成	2点(B)
				×1 2/1 0	○積立金の処分に関する事項 2/2(B)		○情報公開等の推進	2点(B)
				C:満点×5/10≦合計点<満点			○情報セキリュティ対策の強化	2点(B)
				×8/1 0			○環境対策・安全管理の推進	2点(B)
				D:合計点≦満点×5/10			○施設・設備の整備に関する計画	2点(B)
							○積立金の処分に関する事項	2 点(B)

4. その他参考情報			

1. 当事務及び事業に関	する基本情報			
第8-1	第8 その他業務運営に関する事項 1 ガバナンスの強化			
当該項目の重要度、難易度		関連する政策評価・行政事業レビュー	行政事業レビューシート事業番号・0134	

2	. 主要な経年データ								
	評価対象となる指標	達成目標	基準値	X1年度	X2年度	X3年度	X4年度	X5年度	(参考情報)

3.	各事	事業年度の業務に	に係る目標、計画、	業務実績、年度評	価に係る自己評価及び	が主務大臣による評価			
		中期目標	中期計画	年度計画	主な評価指標	法人の業務等	実績・自己評価	主務大臣	による評価
						業務実績	自己評価		
	1	ガバナンスの強	1 ガバナンスの	1 ガバナンスの	指標=「小項目の項目	<主要な業務実績>	<評定と根拠>	評定	В
	化		強化	強化	数×2」(満点) に対	□内部統制システムの	ГВ	<評定に至った理由>	
				〈以下略〉	する「各小項目の点数	充実・強化 2/2(B)	満点: 4 P(小項目 2 × 2 P)	以下のとおり、下位の評価項目	目である小項目の合計点が B 評定の
					の合計値」(合計点)		合計: 4 P	判定基準内(満点×8/10≦合計点·	<満点×12/10)であったため。
					の比率 各小項目の評	□コンプライアンスの	4 P / 4 P = 1.0	満点:4点(小項目2×2点)	
					価点数の区分は以下	推進 2/2(B)	(10/10)	合計点:4点=(2点×2)	
					のとおりとする。			4 点/4 点= 1.0	
					S評価:4点、A評			□内部統制システムの充実・強化	2 点(B)
					価:3点、B評価:2			□コンプライアンスの推進	2 点(B)
					点、C評価:1点、D				
					評価:0点				
					 A:満点×12/10				
					≦合計点				
					B:満点×8/10≦				
					合計点<満点×12/				
					1 0				
					C:満点×5/10≦				
					合計点<満点×8/1				
					0				
					D:合計点≦満点×5				
					/10				

4. その他参考情報			

1. 当事務及び事業に関する基本情報								
第8-1-(1)	第8 その他業務運営に関する事項 1 ガバナンスの強化	(1) 内部統制システムの充実・強化						
当該項目の重要度、難易度		関連する政策評価・行政事業レビュー 行政事業レビューシート事業番号:0134						

2. 主要な経年データ								
評価対象となる指標	達成目標	基準値	X1年度	X2年度	X3年度	X4年度	X5年度	(参考情報)

3. 各事業年度の業務に係る目標、計画、 中期目標	業務実績、年度評価に係る 中期計画	年度計画	主な評価指標	法人の業務 事		主務大臣による評価
1 291 11 705	1 //11 12		丁,华山圃1日/沙	業務実績	自己評価	上が人口による計画
(1) 内部統制システムの充実・強化	(1) 内部統制システムの	(1)内部統制システムの	指標=「細項目の項目数×2」	□監事監査体制の強化	<評定と根拠>	評定 B
「独立行政法人の業務の適正を確保する	充実・強化	充実・強化	(満点)に対する「細項目の	2/2(B)	ГВЈ	<評定に至った理由>
ための体制等の整備」について(平成26年	理事長のリーダーシップ	理事長のリーダーシッ	点数の合計値」(合計点) の比	□役員会の開催等	満点:10P(細項目5×2	以下のとおり、下位
11月 28日付け総管査第 322 号総務省行政	の下で効率的・効果的な業	プの下で効率的・効果的な	率	2/2(B)	P)	の評価項目である細項
管理局長通知)に基づき業務方法書に定め	務運営を推進し、内部統制	業務運営を推進し、内部統	各細項目の評価点数の区分	□法令遵守に係る職員教育	合計:10P	目の合計点が B 評定の
た事項を適正に実行するなど、内部統制シ	システムの更なる充実・強	制システムの更なる充	は以下のとおりとする。	等の強化 2/2(B)	$1 \ 0 \ P / 1 \ 0 \ P = 1 \ . \ 0$	判定基準内(満点×8/10
ステムの更なる充実・強化を図る。	化を図るため、次の取組を	実・強化を図るため、次の	S評価: 4点、A評価: 3	□業務の進行管理	(10/10)	≦合計点<満点×
特に、第3中期目標期間内に生じた調査	行う。	取組を行う。	点、B評価:2点、	2/2(B)		12/10)であったため。
研究業務における不適正な経理処理 事案			C評価:1点、D評価:0点	□リスク管理と迅速な対応		満点:10点(細項目 5
等の事態を重く受け止め、物品の適正な調				2/2(B)		×2 点)
達、その他のリスク管理等の対策を徹底し、			A:満点×12/10≦合計点			合計点:10 点=(2 点×
不適正事案の根絶に向け、内部統制の仕組			B:満点×8/10≦合計点<			5)
みを強化する。			満点×12/10			10 点/10 点= 1.0
具体的には、理事長のリーダーシップの			C:満点×5/10≦合計点<			□監事監査体制の強化
下で効率的・効果的な業務運営を推進する			満点×8/10			2 点(B)
ため、以下の取組等を通じ内部統制システ			D:合計点≦満点×5/10			□役員会の開催等 2点(B)
ムの充実・強化を図るとともに、十分な情						□法令遵守に係る職員教
報共有の下、各役員の担当業務、権限及び						育等の強化 2 点(B)
責任を明確にし、役員による迅速かつ的確						□業務の進行管理 2 点(B)
な意志決定を行う。						□リスク管理と迅速な対
						応 2 点(B)

4. その他参考情報		

1. 当事務及び事業に関	する基本情報	
第8-1-(1)-ア	第8 その他業務運営に関する事項 1 ガバナンスの強化	強化 (1) 内部統制システムの充実・強化 ア 監事監査体制の強化
当該項目の重要度、難易		関連する政策評価・行政事業 行政事業レビューシート事業番号:0134
度		レビュー

2	. 主要な経年データ								
	評価対象となる指標	達成目標	基準値	X1年度	X2年度	X3年度	X4年度	X5年度	(参考情報)

3.	各事業年度の業務に係る	目標、計画、業務実績、年度評価に係	る自己評価及び主務大臣による評	猫			
	中期目標	中期計画	年度計画	主な評価指標	法人の業務実施	績・自己評価	主務大臣による評価
					業務実績	自己評価	
	ア 監事監査の実効性を担	ア 監事監査体制の強化	ア 監事監査体制の強化	S:計画を大きく上回り、かつ顕著	<主要な業務実績>	<評定と根拠>	評定 B
	保するため、「監事監査指	監事監査の実効性を高め、監事監査業務	監事の補助職員を2名配置した	な成果が得られた。	監事監査の実効性を	ГВЈ	<評定に至った理由>
	針」(平成 26 年 12 月 19 日	を円滑に遂行するため、「監事監査指針」	体制を継続する。	A:計画を上回る成果が得られた。	高め、監事監査業務を	根拠:計画どおり実施	計画どおり取組が乳
	独立行政法人、特殊法人等	(平成 26 年 12 月 19 日独立行政法人、特		B:計画どおり順調に実施された。	円滑に遂行するため、	した。	施されたことから「B
	監事連絡会)を踏まえ、役	殊法人等監事連絡会)を踏まえ、役員から		C:計画どおり実施されず改善を要	監事の補助職員を2名		評定とした。
	員からの独立性を担保した	の独立性を担保した形での監事の補助職		する。	配置した体制を継続		
	形での監事の補助職員(以	員(以下「補助職員」という。)を平成28		D:計画どおり実施されず当該業務	し、計画どおり実施し		
	下「補助職員」という。) を	年度末までに2名設置する。		の廃止を含めた抜本的な改善が	た。		
	設置する。			必要と認められる。			

4. その他参考情報			

1. 当事務及び事業に関	する基本情報	
第8-1-(1)-イ	第8 その他業務運営に関する事項 1 ガバナンスの強化	(1) 内部統制システムの充実・強化 イ 役員会の開催等
当該項目の重要度、難易		関連する政策評価・行政事業 行政事業レビューシート事業番号:0134
度		レビュー

2	2. 主要な経年データ								
	評価対象となる指標	達成目標	基準値	X1年度	X2年度	X3年度	X4年度	X5年度	(参考情報)

中期目標	中期計画	年度計画	主な評価指標	法人の業務実	尾績・自己評価	主務大臣による評価	
				業務実績	自己評価		
イ 業務運営に関す	イ 役員会の開催	イ 役員会の開催	指標=「微項目の項	△定期的な役員会の開催 2/2(B)	<評定と根拠>	評定 B	
る重要事項について	等	等	目数×2」(満点) に	△場長会議、業務検討会等の開催	ГВ	<評定に至った理由>	
定期的に役員会にお	業務運営に関す		対する「各微項目の点	2/2(B)	満点:6 P(微項目 3 × 2 P)	以下のとおり、下位の評価項目	目である微項
いて審議・報告する	る重要事項につい		数の合計値」(合計点)	△ネット会議システムの活用等	合計:6P	目の合計点がB評定の判定基準内	内(満点×8/10
などにより、適切な	て定期的に役員会		の比率	2/2(B)	6 P / 6 P = 1.0	≦合計点<満点×12/10)であった	ため。
ガバナンスを確保す	を開催して審議・		各微項目の評価点		(10/10)	満点:6点(微項目 3×2点)	
る。また、ネット会	報告するととも		数の区分は以下のと			合計点:6点=(2点×3)	
議システム等の効率	に、必要に応じて		おりとする。			6 点/6 点= 1.0	
的な活用を図ること	場長会議、業務検		S評価:4点、A評			△定期的な役員会の開催	2点(B)
等により牧場・支場	討会等を開催する		価:3点、B評価:2			△場長会議、業務検討会等の開催	2点(B)
とのコミュニケーシ	などにより、適切		点、C評価:1点、D			△ネット会議システムの活用等	2点(B)
ョンの改善を図る。	なガバナンスを確		評価:0点				
	保する。また、ネ						
	ット会議システム		A:満点×12/10				
	等を効率的に活用		≦合計点				
	するなどにより、		B:満点×8/10≦				
	センター本所、牧		合計点<満点×12/				
	場及び支場間のコ		1 0				
	ミュニケーション		C:満点×5/10≦				
	の改善に取り組		合計点<満点×8/1				
	む。		0				
			D:合計点≦満点×5				
			/10				

4. その他参考情報			

1. 当事務及び事業に関す	1. 当事務及び事業に関する基本情報								
第8-1-(1)-イ-(ア)	第8 その他業務運営に関する事項 1 ガバナンスの強化	(1) 内部統制システムの充実・強化 イ 役員会の開催等							
	(ア) 定期的な役員会の開催								
当該項目の重要度、難易		関連する政策評価・行政事業 行政事業レビューシート事業番号:0134							
度		レビュー							

2. 主要な経年データ									
評価対象となる指標	達成目標	基準値	X1年度	X2年度	X3年度	X4年度	X5年度	(参考情報)	

3.	各事業年度の業務に	係る目標、計画、	業務実績、年度評価	価に係る自己評価及び	び主務大臣による評価			
	中期目標	中期計画	年度計画	主な評価指標	法人の業務等	実績・自己評価 ニュー	主務大臣による評価	
					業務実績	自己評価		
			(ア) 定期的な役	S:計画を大きく上回	<主要な業務実績>	<評定と根拠>	評定	В
			員会の開催	り、かつ顕著な成果	平成29年度は、6月、	∟ B ⊺	<評定に至った理由>	
			理事長のリーダ	が得られた。	12月及び2月に役員会	根拠:計画どおり実施した。	計画どおり取組が実施されたことから「	$[\mathbf{B}]$ 評定とした。
			ーシップの下で効	A:計画を上回る成果	を開催し、事業計画、予			
			率的・効果的な業	が得られた。	算・決算等の業務運営に			
			務運営を推進する	B:計画どおり順調に	関する重要事項について			
			ため、業務運営に	実施された。	審議・報告を行うなど、計			
			関する重要事項に	C:計画どおり実施さ	画どおり実施した。			
			ついて定期的に役	れず改善を要する。				
			員会を開催して審	D:計画どおり実施さ				
			議・報告を行う。	れず当該業務の廃				
				止を含めた抜本的				
				な改善が必要と認				
				められる。				

4. その他参考情報			

1. 当事務及び事業に関する基本情報								
第8-1-(1)-イ-(イ)	第8 その他業務運営に関する事項 1 ガバナン	スの強化 (1) 内部統制システムの充実・強	化 イ 役員会の開催等					
	(イ) 場長会議、業務検討会等の開催							
当該項目の重要度、難易		関連する政策評価・行政事業	行政事業レビューシート事業番号:0134					
度		レビュー						

2	2. 主要な経年データ								
	評価対象となる指標	達成目標	基準値	X1年度	X2年度	X3年度	X4年度	X5年度	(参考情報)

3.	各事業年度の業務に	係る目標、計画、	業務実績、年度評	価に係る自己評価及び	ド主務大臣による評価		
	中期目標	中期計画	年度計画	主な評価指標	法人の業務実績	責・自己評価	主務大臣による評価
					業務実績	自己評価	
			(イ) 場長会議、	S:計画を大きく上回	<主要な業務実績>	<評定と根拠>	評定 B
			業務検討会等の開	り、かつ顕著な成果が	適切なガバナンスを確保しつつ効率的・効	ГВ 」	<評定に至った理由>
			催	得られた。	果的な業務の推進を図るため、場長会議を開	根拠:計画どおり実施した。	計画どおり取組が実施されたことか
			適切なガバナン	A:計画を上回る成果	催し、業務の進捗状況や懸案事項への対応等		ら「B」評定とした。
			スを確保しつつ効	が得られた。	について確認を行った。また、中期計画等の		
			率的・効果的な業	B:計画どおり順調に	達成に向け、業務検討会を開催し、外部有識		
			務の推進を図るた	実施された。	者を交え業務に係る課題について検討を行		
			め、必要に応じて	C:計画どおり実施さ	った。業務検討会後、出された指摘・意見へ		
			場長会議、業務検	れず改善を要する。	の具体的な対応策等を整理し、改善に取り組		
			討会等を開催す	D:計画どおり実施さ	んだ。		
			る。	れず当該業務の廃止			
				を含めた抜本的な改			
				善が必要と認められ			
				る。			

4. その他参考情報			

1. 当事務及び事業に関す	1. 当事務及び事業に関する基本情報								
第8-1-(1)-イ-(ウ)	第8 その他業務運営に関する事項 1 ガバナンスの強化	(1) 内部統制システムの充実・強化 イ 役員会の開催等							
	(ウ) ネット会議システムの活用等								
当該項目の重要度、難易度		関連する政策評価・行政事業 行政事業レビューシート事業番号:0134							
		レビュー							

2. 主要な経年データ								
評価対象となる指標	達成目標	基準値	X1年度	X2年度	X3年度	X4年度	X5年度	(参考情報)

中期目標	中期計画	年度計画	主な評価指標	法人の業務実績・自己	評価	主務大臣による評価
				業務実績	自己評価	
		(ウ)ネット会議システム	S:計画を大きく上回り、かつ顕	<主要な業務実績>	<評定と根拠>	評定 B
		の活用等	著な成果が得られた。	定期的な部長会議、本所と各牧場・支場と	∟ B ⊃	<評定に至った理由>
		ネット会議システムを活	A:計画を上回る成果が得られた。	の業務打合せの開催に当たり、平成28年度	根拠:計画どおり実施し	計画どおり、テレビ会議システム
		用し、定期的に及び案件が	B:計画どおり順調に実施された。	から導入したテレビ会議システムの活用を	た。	の活用が行われたことから「B」記
		あるごとにセンター本所、	C:計画どおり実施されず改善を	始めたところ、センター全体としての双方向		定とした。
		牧場及び支場間のネット会	要する。	の情報共有、迅速な会議設定や出張の節減な		
		議を実施する。(再掲)	D:計画どおり実施されず当該業	ど、センター業務の効率化に有効であること		
			務の廃止を含めた抜本的な改善が	が明らかとなり、同システムの活用について		
			必要と認められる。	広く呼びかけ、その結果、説明会、勉強会等		
				を含め一年間で74回利用し、計画どおり実		
				施した。(再掲)		
,						

4. その他参考情報			

1. 当事務及び事業に関する基本情報								
第8-1-(1)-ウ	第8 その他業務運営に関する事項 1 ガバナンスの強化	(1) 内部統制システムの充実・強化 ウ 法令遵守に係る職員教育等の強化						
当該項目の重要度、難易度		関連する政策評価・行政事業 行政事業レビューシート事業番号:0134						
		レビュー						

2. 主要な経年データ								
評価対象となる指標	達成目標	基準値	X1年度	X2年度	X3年度	X4年度	X5年度	(参考情報)

3.		工係る目標、計画、業務実績、年	1				
	中期目標	中期計画	年度計画	主な評価指標	法人の業務実績・自	己評価	主務大臣による評価
					業務実績	自己評価	
	ウ 法令遵守に係る	ウ 法令遵守に係る職員教育等の	ウ 法令遵守に係る職員	S:計画を大きく上回り、かつ	<主要な業務実績>	<評定と根拠>	評定 B
	職員教育等を強化す	強化	教育等の強化	顕著な成果が得られた。	法令遵守に係る職員教育を強化する	ГВЈ	<評定に至った理由>
	るため、e ラーニング	法令遵守に係る職員教育等を強	e ラーニングシステムを	A:計画を上回る成果が得られ	ため、自作教材とイントラネットを活	根拠:計画どおり実施	計画どおり取組が行われたこと
	システムを導入する	化するため、平成28年度末までに e	活用した法令遵守に係る	た。	用した e ラーニングシステムによる研	した。	から「B」評定とした。
	ことにより、効果的	ラーニングシステムを導入し、導入	職員教育を実施する。	B:計画どおり順調に実施され	修を、計画どおり実施した。		
	な研修を実施する。	後は法令遵守に係る職員教育を毎		た。			
		年度、1回以上実施することによ		C:計画どおり実施されず改善			
		り、効率的・効果的な研修機会の拡		を要する。			
		充や、時宜を得た必要な学習が可能		D:計画どおり実施されず当該			
		な体制とするなど、効果的な研修を		業務の廃止を含めた抜本的な			
		実施する。		改善が必要と認められる。			

4. その他参考情報			

1. 当事務及び事業に関する基本情報								
第8-1-(1)-エ	第8 その他業務運営に関する事項 1	ガバナンスの強化	(1) 内部統制システムの充実・強化 エ	業務の進行管理				
当該項目の重要度、難易度			関連する政策評価・行政事業レビュー	行政事業レビューシート事業番号:0134				

2	2. 主要な経年データ								
	評価対象となる指標	達成目標	基準値	X1年度	X2年度	X3年度	X4年度	X5年度	(参考情報)

3. 各事業年度の業務に	に係る目標、計画、	業務実績、年度評	価に係る自己評価及び	ド主務大臣による評価		
中期目標	中期計画	年度計画	主な評価指標	法人の業務実績・自	己評価	主務大臣による評価
				業務実績	自己評価	
工 行動規範、中期	エ 業務の進行管	エ 業務の進行管	指標=「微項目の項	△内部統制に関する規程等の見直し	<評定と根拠>	評定 B
計画・年度計画事業	理	理	目数×2」(満点) に	2/2(B)	ГВ 」	<評定に至った理由>
の着実な実施に係る	行動規範、中期	〈以下略〉	対する「各微項目の点	△業務進捗状況の四半期毎の取りまとめ等	満点:4 P(微項目 2 × 2 P)	以下のとおり、下位の評価項目である微項目の
方針や内部統制推進	計画・年度計画		数の合計値」(合計点)	業務の進行管理 2/2(B)	合計:4P	合計点が B 評定の判定基準内(満点×8/10≦合計
規程等について、内	事業の着実な実		の比率		4 P / 4 P = 1.0	点<満点×12/10)であったため。
部統制に係る活動の	施に係る方針や		各微項目の評価点		(10/10)	満点:4点(微項目2×2点)
体系的な実施の観点	内部統制推進規		数の区分は以下のと			合計点:4点=(2点×2)
から、必要に応じ見	程等について、		おりとする。			4 点/4 点= 1.0
直しを行う。	内部統制に係る		S評価:4点、A評			△内部統制に関する規程等の見直し 2 点(B)
	活動の体系的な		価:3点、B評価:2			△業務進捗状況の四半期毎の取りまとめ等業務の進行管
	実施の観点か		点、C評価:1点、D			理 2 点(B)
	ら、必要に応じ		評価:0点			
	見直しを行う。					
	また、四半期毎		A:満点×12/10			
	に業務の進捗状		≦合計点			
	況を取りまと		B:満点×8/10≦			
	め、役員等によ		合計点<満点×12/			
	るモニタリング		1 0			
	を実施し、必要		C:満点×5/10≦			
	に応じて措置を		合計点<満点×8/1			
	講じるなど、業		0			
	務の進行管理を		D:合計点≦満点×5			
	行う。		/10			

4. その他参考情報			

1. 当事務及び事業に関する基本情報									
第8-1-(1)-エ-(ア)	第8 その他業務運営に関する事項 1 ガバナンスの強化	(1) 内部統制システムの充実・強化 エ 業務の進行管	理						
	(ア) 内部統制に関する規程等の見直し								
当該項目の重要度、難易度		関連する政策評価・行政事業レビュー 行政事業レ	ビューシート事業番号:0134						

2. 主要な経年データ									
評価対象となる指標	達成目標	基準値	X1年度	X2年度	X3年度	X4年度	X5年度	(参考情報)	

3. 各事業年度の業務に	. 各事業年度の業務に係る目標、計画、業務実績、年度評価に係る自己評価及び主務大臣による評価									
中期目標	中期計画	年度計画	主な評価指標	法人の業務実績・	自己評価	主務大臣による評価				
				業務実績	自己評価					
		(ア) 内部統制に関する規程	S:計画を大きく上回り、かつ顕著な成	<主要な業務実績>	<評定と根拠>	評 B				
		等の見直し	果が得られた。	内部統制に係る活動の体系的な実施	ГВЈ	定				
		行動規範、中期計画・年度	A:計画を上回る成果が得られた。	の観点から、組織規程及び決裁権者を欠	根拠:	<評定に至った理由>				
		計画事業の着実な実施に係る	B:計画どおり順調に実施された。	く場合の代決者に関する規程の一部改	・計画どおり実施した。	計画どおり内部統制推進				
		方針や内部統制推進規程等に	C:計画どおり実施されず改善を要す	正を行った。		規程の改正等の見直しが行				
		ついて、内部統制に係る活動	る。			われたことから「B」評定と				
		の体系的な実施の観点から、	D:計画どおり実施されず当該業務の廃			した。				
		必要に応じ見直しを行う。	止を含めた抜本的な改善が必要と認め							
			られる。							

4. その他参考情報			

1. 当事務及び事業に関する基本情報							
第8-1-(1)-エ-(イ)	第8 その他業務運営に関する事項 1 ガバナンスの強化	強化 (1)内部統制システムの充実・強化 エ 業務の進行管理					
	(イ)業務進捗状況の四半期毎の取りまとめ等業務の進行	行管理					
当該項目の重要度、難易度		関連する政策評価・行政事業レビュー 行政事業レビューシート事業番号:0134					

2	2. 主要な経年データ								
	評価対象となる指標	達成目標	基準値	X1年度	X2年度	X3年度	X4年度	X5年度	(参考情報)

3.	各事業年度の業務に	上係る目標、計画、	業務実績、年度評価に係る日	自己評価及び主務大臣による評価	<u> </u>			
	中期目標	中期計画	年度計画	主な評価指標	法人の業務実績・自己評価		主務大臣による評価	
					業務実績	自己評価		
			(イ)業務進捗状況の四半期	S:計画を大きく上回り、かつ顕	<主要な業務実績>	<評定と根拠>	評定	В
			毎の取りまとめ等業務の進行	著な成果が得られた。	業務の進捗状況について四半期毎に取りまとめ、	ГВЈ	<評定に	至った理由>
			管理	A:計画を上回る成果が得られた。	役員等によるモニタリングを実施し、懸案事項への	根拠:計画どおり	計画と	ぎおり取組が行われたこと
			業務の進捗状況について四	B:計画どおり順調に実施された。	対応に係る指示を行い措置を講じるなど、的確な進	実施した。	から「B	」評定とした。
			半期毎に取りまとめ、役員等	C:計画どおり実施されず改善を	行管理を行った。			
			によるモニタリングを実施	要する。				
			し、必要に応じて措置を講じ	D:計画どおり実施されず当該業				
			るなど、的確な業務の進行管	務の廃止を含めた抜本的な改善が				
			理を行う。	必要と認められる。				

4. その他参考情報			

1. 当事務及び事業に関	する基本情報			
第8-1-(1)-オ	第8 その他業務運営に関する事項 1	ガバナンスの強化 (1) 内部統制システムの充実・強化 オ リ	スク管理と迅速な対応
当該項目の重要度、難易度			関連する政策評価・行政事業レビュー	行政事業レビューシート事業番号:0134

2	2. 主要な経年データ								
	評価対象となる指標	達成目標	基準値	X1年度	X2年度	X3年度	X4年度	X5年度	(参考情報)

3. 各事業年度の業務に	こ係る目標、計画、	業務実績、年度評	価に係る自己評価及び主務	大臣による評価		
中期目標	中期計画	年度計画	主な評価指標	法人の業務実績・	自己評価	主務大臣による評価
				業務実績	自己評価	
	オ リスク管理と	オ リスク管理と	指標=「微項目の項目数	△リスク対応に関する計画の策定等	<評定と根拠>	評定 B
	迅速な対応	迅速な対応	×2」(満点)に対する「各	2/2(B)	ГВЈ	<評定に至った理由>
	センターの業務	〈以下略〉	微項目の点数の合計値」(合	△緊急時における連絡網の整備等	満点: 4 P(微項目2×2 P)	以下のとおり、下位の評価項目である微項目
	の円滑な実施を阻		計点) の比率	2/2(B)	合計: 4 P	の合計点が B 評定の判定基準内(満点×8/10≦
	害するリスクを把		各微項目の評価点数の区		4 P / 4 P = 1.0	合計点<満点×12/10)であったため。
	握・分析・評価し、		分は以下のとおりとする。		(10/10)	満点:4点(微項目2×2点)
	リスク対応に関す		S評価: 4点、A評価:			合計点:4点=(2点×2)
	る計画を策定する		3点、B評価:2点、C評			4 点/4 点= 1.0
	とともに、危機発		価:1点、D評価:0点			△リスク対応に関する計画の策定等 2 点(B)
	生時に迅速かつ的					△緊急時における連絡網の整備等 2 点(B)
	確な対応を図り、		A:満点×12/10≦合計			
	業務を円滑に行う		点			
	ための体制の構築		B:満点×8/10≦合計点			
	を図る。		<満点×12/10			
			C:満点×5/10≦合計点			
			<満点×8/10			
			D:合計点≦満点×5/1			
			0			

4. その他参考情報			

1. 当事務及び事業に関	する基本情報		
第8-1-(1)-オ-(ア)	第8 その他業務運営に関する事項 1 ガバナンスの強化 (1) 内部統制システムの充実・強化 オ リ	スク管理と迅速な対応
	(ア) リスク対応に関する計画の策定等		
当該項目の重要度、難易度		関連する政策評価・行政事業レビュー	行政事業レビューシート事業番号:0134

4	2. 主要な経年データ								
	評価対象となる指標	達成目標	基準値	X1年度	X2年度	X3年度	X4年度	X5年度	(参考情報)

3	. 各事業年度の業務に	係る目標、計画、	業務実績、年度評価に係る自己評	平価及び主務大臣による評価			
	中期目標	中期計画	年度計画	主な評価指標	法人の業務実績・自己記	平価	主務大臣による評価
					業務実績	自己評価	
			(ア) リスク対応に関する計画の策	S:計画を大きく上回り、かつ顕著な	<主要な業務実績>	<評定と根拠>	評定 B
			定等	成果が得られた。	本所各部署や各牧場等からのリスク	ГВЈ	<評定に至った理由>
			本所各部署や各牧場等からの報	A:計画を上回る成果が得られた。	管理の実施状況の報告を踏まえ、リスク	根拠:計画どおり	計画どおり取組が行われたことか
			告を踏まえ、リスク管理対応規程に	B:計画どおり順調に実施された。	管理対応規程に基づき、業務の円滑な実	実施した。	ら「B」評定とした。
			基づき、業務の円滑な実施を阻害す	C:計画どおり実施されず改善を要す	施を阻害するリスクを把握・分析・評価		
			るリスクを把握・分析・評価し、リ	る。	し、リスク対応に関する計画について、		
			スク対応に関する計画を策定する。	D:計画どおり実施されず当該業務の	平成29年8月と12月に一部見直し		
			また、必要に応じ、同計画の見直し	廃止を含めた抜本的な改善が必要と	を行うとともに、リスク管理委員会にお		
			を行う。	認められる。	ける指摘・意見を踏まえ、定義を見直し、		
					「独立行政法人家畜改良センターリス		
					ク管理対応規程」を30年1月に一部改		
					正した。		
					また、防災業務計画、リスク管理対応		
					計画等を踏まえつつ、本所における業務		
					継続計画を30年3月に策定した。		

4. その他参考情報		

1. 当事務及び事業に関	する基本情報	
第8-1-(1)-オ-(イ)	第8 その他業務運営に関する事項 1 ガバナンスの強化 (1)内部統制システムの充実・強化 オ リスク管理と迅速な対応	
	(イ) 緊急時における連絡網の整備等	
当該項目の重要度、難易度	関連する政策評価・行政事業レビュー 行政事業レビューシート事業番号:0134	

2	. 主要な経年データ							
	評価対象となる指標	達成目標	X1年度	X2年度	X3年度	X4年度	X5年度	(参考情報)

中期目標中期計画	年度計画 主	主な評価指標	法人の業務実	ミ績・自己評価	主務大臣による評価	
			業務実績	自己評価		
(1)	') 緊急時にお S:記	計画を大きく上回	<主要な業務実績>	<評定と根拠>	評定	В
ける	ら連絡網の整備 り、た	かつ顕著な成果が	危機発生時に迅速かつ	ГВЈ	<評定に至った理由>	
等	得られ	れた。	的確な対応を図り、業務	根拠:計画どおり実施した。	計画どおり、取組が行われたことから「	B」評定とした。
危机	も機発生時に迅 A:記	計画を上回る成果	を円滑に行うため、緊急			
速か・	つつ的確な対応が得	られた。	時における連絡網を整備			
を図	図り、業務を円 B:記	計画どおり順調に	し、更新を行うなど、計			
滑に	こ行うため、緊 実施	された。	画どおり実施した。			
急時	時における連絡 C:詞	計画どおり実施さ				
網の)整備を行うな れずご	改善を要する。				
ど体行	は制の構築を図 D: 記	計画どおり実施さ				
る。	れず	当該業務の廃止				
	を含	めた抜本的な改				
	善が	必要と認められ				
	る。					

4. その他参考情報			

1. 当事務及び事業に関する基本情報										
第8-1-(2)	第8 その他業務運営に関する事項 1 ガバ	ドナンスの強化 (2) コンプライアンスの推進								
当該項目の重要度、難易度		関連する政策評価・行政事業レビュ	ユー 行政事業レビューシート事業番号:0134							

2	2. 主要な経年データ								
	評価対象となる指標	達成目標	基準値	X1年度	X2年度	X3年度	X4年度	X5年度	(参考情報)

3.	各事業年度の業務に	「係る目標、計画、	業務実績、年度評価に係る自己評	評価及び主務大臣による評価			
	中期目標	中期計画	年度計画	主な評価指標	法人の業務実績・自己評	² 価	主務大臣による評価
					業務実績	自己評価	
			(2) コンプライアンスの推進	S:計画を大きく上回り、か	<主要な業務実績>	<評定と根拠>	評 B
			コンプライアンスの推進のため、	つ顕著な成果が得られた。	調査研究業務における不適正な経理処理事案の	∟ B ∃	定
			内部統制監視委員会を半期に1回開	A:計画を上回る成果が得ら	再発防止のために不正防止計画を着実に実施する	根拠:計画どおり実施し	<評定に至った理由>
			催し、審議結果を踏まえた指示及び	れた。	とともに、コンプライアンスの推進のため、センタ	た。	計画どおり、取組が行わ
			情報等の周知徹底を行うとともに、	B:計画どおり順調に実施さ	一のイントラネットを活用した e ラーニングシス		れたことから「B」評定と
			意識向上のための職員調査を実施す	れた。	テムによる職員教育を行った。また、内部統制監視		した。
			る。また、業務運営の横断的な点検	C:計画どおり実施されず改	委員会を半期に1回開催し、その審議結果を踏まえ		
			を行うため、監事又は監事の補助職	善を要する。	て、取組の指示及び必要な情報等の周知徹底を行う		
			員による内部監査を2年で一巡出来	D:計画どおり実施されず当	とともに、職員調査を実施し、集計分析結果から必		
			るよう概ね6か所実施する。	該業務の廃止を含めた抜本的	要な対策を実施するよう本所各部及び各場に伝達		
				な改善が必要と認められる。	した。さらに、業務運営の横断的な点検のため、監		
					事と監事の補助職員による監事監査を6か所実施		
					し、前年度に実施した6か所と合わせて2年で一巡		
					した。		

4. その他参考情報			

1. 当事務及び事業に関す	する基本情報		
第8-2	第8 その他業務運営に関する事項 2 人材の確保・育成		
当該項目の重要度、難易度		関連する政策評価・行政事業レビュー	行政事業レビューシート事業番号:0134

2	2. 主要な経年データ								
	評価対象となる指標	達成目標	基準値	X1年度	X2年度	X3年度	X4年度	X5年度	(参考情報)

3	各	事業年度の業務に	に係る目標、計画、	業務実績、年度評	価に係る自己評価及び主務大臣による評価			
		中期目標	中期計画	年度計画	主な評価指標	法人の業績	答実績・自己評価	主務大臣による評価
						業務実績	自己評価	
	2	人材の確保・育	2 人材の確保・	2 人材の確保・	指標=「小項目の項目数×2」(満点) に対する	<主要な業務実績>	<評定と根拠>	評定 B
	成		育成	育成	「各小項目の点数の合計値」(合計点)の比率 各	◇人材の確保・育成	ГВЈ	<評定に至った理由>
				〈以下略〉	小項目の評価点数の区分は以下のとおりとす	2/2(B)	満点:4 P(小項目 2 × 2 P)	以下のとおり、下位の評価項目で
					る。	◇役職員の給与水準等	合計:4P	ある小項目の合計点が B 評定の判定
					S評価: 4点、A評価: 3点、B評価: 2点、	2/2(B)	4 P / 4 P = 1.0	基準内(満点×8/10≦合計点<満点
					C評価:1点、D評価:0点		(10/10)	×12/10)であったため。
								満点:4点(小項目2×2点)
					A:満点×12/10≦合計点			合計点:4点=(2点×2)
					B:満点×8/10≦合計点<満点×12/10			4 点/4 点= 1.0
					C:満点×5/10≦合計点<満点×8/10			◇人材の確保・育成 2 点(B)
					D:合計点≦満点×5/10			◇役職員の給与水準等 2 点(B)

4. その他参考情報			

1. 当事務及び事業に関する基本情報											
第8-2-(1)	第8 その他業務運営に関する事項 2 人材の確保・育成	(1)人材の確保・育成									
当該項目の重要度、難易度		関連する政策評価・行政事業レビュー 行政事業レビューシート事業番号:0134									

2. 主	2. 主要な経年データ										
評价	価対象となる指標	達成目標	基準値	X1年度	X2年度	X3年度	X4年度	X5年度	(参考情報)		

中期目標	中期計画	年度計画	主な評価指標	法人の業務実績・	自己評価	主務大臣による
				業務実績	自己評価	評価
	(1)人材の確保・育成	(1)人材の確保・育成	S:計画を大きく上回り、かつ顕	<主要な業務実績>	<評定と根拠>	評 B
	人事評価が適切に実施されるよ	人事評価が適切に実施されるよう評価者研修	著な成果が得られた。	人事評価が適切に実施される	$\lceil \mathrm{B} floor$	定
	う評価者研修を含めて実施体制を	を含めた実施体制を整備するとともに、人事評価	A:計画を上回る成果が得られ	よう評価者研修を含めた実施体	計画どおり実施した。	<評定に至った
	整備するとともに、人事評価を通	を通じて職員個々の能力や実績等を的確に把握	た。	制を整備し、人事評価を通じて		理由>
	じて職員個々の能力や実績等を的	し、適材適所の人事配置や人材育成を実施するこ	B:計画どおり順調に実施され	職員個々の能力や実績等を的確		計画どおり取
	確に把握し、適材適所の人事配置	とにより、職員の意識向上を図るとともに、職務	た。	に把握し、適材適所の人事配置		組が実施された
	や人材育成を推進することによ	能力を最大限発揮できる環境整備を実施する。ま	C:計画どおり実施されず改善を	や人材育成を実施した。		ことから「B」評
	り、職員の意欲向上を図るととも	た、必要に応じて人事評価制度の有効性を検証	要する。	また、農林水産省や他の独立		定とした。
	に、能力を最大限発揮できる環境	し、見直しを行う。	D:計画どおり実施されず当該業	行政法人等との人事交流、業務		
	を整備する。	組織の活性化や業務の円滑な運営を図るため、	務の廃止を含めた抜本的な改	に必要な能力・技術水準を向上		
	また、業務の円滑な運営を図る	また業務の高度化・専門化に対応するため、積極	善が必要と認められる。	させるための研修、内部資格制		
	ため、農林水産省や他の独立行政	的に農林水産省や他の独立行政法人等との人事		度の活用等を行うとともに、女		
\	法人等との人事交流や、業務に必	交流、業務に必要な能力、技術水準の維持・向上		性の採用や登用に向けた取組を		
\	要な能力、技術水準を向上させる	や資格を取得するための管理・事務関係研修、技		実施した。		
	ための研修、内部資格制度の活用	術向上研修、安全衛生・施設管理関係研修等の計				
	等を行うことにより必要な人材の	画的な実施、内部資格制度の活用等を行うことに				
	確保・育成を図るととともに、「独	より必要な人材の確保・育成を図るとともに、「独				
	立行政法人等における女性の登用	立行政法人等における女性の登用推進について」				
	推進について」(平成26年3月28	(平成 26 年 3 月 28 日付け閣総第 175 号及び府共				
	日付け閣総第 175 号及び府共第	第 211 号内閣官房内閣総務官、内閣府男女共同参				
	211 号内閣官房内閣総務官、内閣	画局長通知)を踏まえ、女性の採用や登用に向け				
\	府男女共同参画局長通知)を踏ま	た取組を実施する。				
	│ え、女性の採用や登用に向けた取					
	√組を推進する。					

4. その他参考情報

1. 当事務及び事業に関	1. 当事務及び事業に関する基本情報											
第8-2-(2)	第8 その他業務運営に関する事項 2 人材の確保・育成 (2)役職員の給与水準等										
当該項目の重要度、難易度		関連する政策評価・行政事業レビュー 行政事業レビューシート事業番号:0134										

2.	2. 主要な経年データ										
	評価対象となる指標	達成目標	基準値	X1年度	X2年度	X3年度	X4年度	X5年度	(参考情報)		

3.	各事業年度の業務に	係る目標、計画、業務実績、年月	度評価に係る自己評価及び主務大	臣による評価			
	中期目標	中期計画	年度計画	主な評価指標	法人の業務実績・自己	評価	主務大臣による評価
					業務実績	自己評価	
		(2) 役職員の給与水準等	(2) 役職員の給与水準等	S:計画を大きく上回り、かつ顕	<主要な業務実績>	<評定と根拠>	評定 B
		中期目標管理法人であることから、	中期目標管理法人であることか	著な成果が得られた。	役職員の給与については、役員の業績	ГВЈ	<評定に至った理由>
		役職員の給与については、役員の業	ら、役職員の給与については、役員	A:計画を上回る成果が得られ	や職員の勤務成績を考慮するとともに、	根拠:計画どおり実	計画どおり取組を行
		績や職員の勤務成績を考慮すると	の業績や職員の勤務成績を考慮す	た。	国家公務員・民間企業の役員・従業員の	施した。	うとともに、給与水準
		ともに、国家公務員の給与、民間企	るとともに、国家公務員の給与、民	B:計画どおり順調に実施され	報酬・給与等を考慮し給与支給基準を定		も国家公務員と同等の
		業の役員の報酬、民間企業の従業員	間企業の役員の報酬、民間企業の従	た。	めた。また、給与支給基準及び給与水準		水準としたことから
		の給与等及び法人の業務の実績並	業員の給与等及び法人の業務の実	C:計画どおり実施されず改善を	(ラスパイレス指数等) 等を公表した。		「B」評定とした。
		びに職員の職務の特性及び雇用形	績並びに職員の職務の特性及び雇	要する。			
		態その他の事情を考慮した支給基	用形態その他の事情を考慮した支	D:計画どおり実施されず当該業			
		準を定め、透明性の向上や説明責任	給基準を定め、透明性の向上や説明	務の廃止を含めた抜本的な改			
		の一層の確保のため、給与支給に当	責任の一層の確保のため、給与支給	善が必要と認められる。			
		たっての基準、給与水準(ラスパイ	に当たっての基準、給与水準(ラス				
		レス指数等)等を公表する。	パイレス指数等) 等を公表する。				

4. その他参考情報

1. 当事務及び事業に関する基本情報										
第8-3	第8 その他業務運営に関する事項 3 情報公開等の推進									
当該項目の重要度、難易度		関連する政策評価・行政事業レビュー	行政事業レビューシート事業番号:0134							

2	2. 主要な経年データ								
	評価対象となる指標	達成目標	基準値	X1年度	X2年度	X3年度	X4年度	X5年度	(参考情報)

中期目標	中期計画	年度計画	主な評価指標	法人の	業務実績・自	己評価	主務大臣による評価	<u> </u>
				業務実績		自己評価		
 3 情報公開の推進	3 情報公開の推	3 情報公開の推	指標=「小項目の項目	<主要な業務実績>		<評定と根拠>	評定 B	
	進	進	数×2」(満点) に対	◇情報公開の実施	2/2(B)	ГВЈ	<評定に至った理由>	
	公正な法人運営	〈以下略〉	する「各小項目の点数	◇個人情報の取扱い	2/2(B)	満点: 4 P(小項目2×2 P)	以下のとおり、下位の評価項	目である小コ
	を実施し、法人に		の合計値」(合計点)			合計: 4 P	目の合計点がB評定の判定基準	内(満点×8/1
	対する国民の信頼		の比率 各小項目の評			4 P / 4 P = 1.0	≦合計点<満点×12/10)であった	ため。
	を確保する観点か		価点数の区分は以下			(10/10)	満点:4点(小項目2×2点)	
	ら、独立行政法人		のとおりとする。				合計点:4点=(2点×2)	
	等の保有する情報		S評価:4点、A評				4 点/4 点= 1.0	
	の公開に関する法		価:3点、B評価:2					
	律(平成 13 年法律		点、C評価:1点、D				◇情報公開の実施	2点(B)
	第 140 号) 等に基		評価:0点				◇個人情報の取扱い	2点(B)
	づき、適切に情報							
	公開を行う。また、		A:満点×12/10					
	独立行政法人等の		≦合計点					
	保有する個人情報		B:満点×8/10≦					
	の保護に関する法		合計点<満点×12/					
	律(平成 15 年法律		1 0					
	第 59 号) や関係規		C:満点×5/10≦					
	程に基づき、個人		合計点<満点×8/1					
	情報を適正に取り		0					
	扱う。		D:合計点≦満点×5					
			/10					

4. その他参考情報			

1. 当事務及び事業に関する基本情報										
第8-3-(1)	第8 その他業務運営に関する事項 3	情報公開等の推進	(1)情報公開の実施							
当該項目の重要度、難易度			関連する政策評価・行政事業レビュー	行政事業レビューシート事業番号:0134						

2. 主要な経年データ										
評価対象となる指標	達成目標	基準値	X1年度	X2年度	X3年度	X4年度	X5年度	(参考情報)		

中期目標	中期計画	年度計画	系る自己評価及び主務大臣による評価 主な評価指標	法人の業務実績・		主務大臣による評価	
				業務実績	自己評価		
		(1)情報公開の実施	S:計画を大きく上回り、かつ顕著な成	<主要な業務実績>	<評定と根拠>	評定	В
		法令等により公開を義	果が得られた。	法令等により公開が義務づけら	ГВЈ	<評定に至った	た理由>
		務づけられている情報に	A:計画を上回る成果が得られた。	れている情報について、ホームペー	根拠:計画どおり実施	計画どおり	取組が実施されたことから
		ついて、ホームページを	B:計画どおり順調に実施された。	ジを通じて適切に情報公開を行っ	した。	「B」評定とし	た。
		通じて適切に情報公開を	C:計画どおり実施されず改善を要す	た。			
		行う。	る。				
			D:計画どおり実施されず当該業務の廃				
			止を含めた抜本的な改善が必要と認				
			められる。				

4. その他参考情報		

1. 当事務及び事業に関	1. 当事務及び事業に関する基本情報								
第8-3-(2)	第8 その他業務運営に関する事項 3	情報公開等の推進	(2) 個人情報の取扱い						
当該項目の重要度、難易度			関連する政策評価・行政事業レビュー 行	政事業レビューシート事業番号:0134					

2	2. 主要な経年データ									
	評価対象となる指標	達成目標	基準値	X1年度	X2年度	X3年度	X4年度	X5年度	(参考情報)	

中期計画 年度計画	主な評価指標		上評価	主務	5大日による評価	
(a) /B k= #1 a		→ マタトナ・今丰	法人の業務実績・自己評価		主務大臣による評価	
(0) 伊 1 桂却で		業務実績	自己評価			
[(2) 個人情報の	取扱 S:計画を大きく上回り、かつ顕著な成果が	<主要な業務実績>	<評定と根拠>	評定	В	
V)	得られた。	個人情報の取扱いについて、新規採用	ГВЈ	<評定に至っ	た理由>	
法令等に基づる	、適 A:計画を上回る成果が得られた。	者等への研修、外部の研修会に担当職員	根拠:計画どおり実	計画どおり	取組が実施されたことか	
正に個人情報を	取り B:計画どおり順調に実施された。	を参加させるなどの取組を実施するこ	施した。	ら「B」評定	とした。	
扱うとともに、外	部の C:計画どおり実施されず改善を要する。	とにより、職員の個人情報に係る意識の				
研修会に担当職	員を D:計画どおり実施されず当該業務の廃止を	向上を図り、法令等に基づき、適切に個				
積極的に参加させ	る。 含めた抜本的な改善が必要と認められる。	人情報を取り扱った。				
	正に個人情報を 扱うとともに、外 研修会に担当職員	法令等に基づき、適 A:計画を上回る成果が得られた。 正に個人情報を取り B:計画どおり順調に実施された。 扱うとともに、外部の C:計画どおり実施されず改善を要する。 研修会に担当職員を D:計画どおり実施されず当該業務の廃止を	法令等に基づき、適 A:計画を上回る成果が得られた。	法令等に基づき、適 A:計画を上回る成果が得られた。	法令等に基づき、適 A:計画を上回る成果が得られた。	

4. その他参考情報			

1. 当事務及び事業に関する基本情報							
第8-4 第8 その他業務運営に関する事項 4 情報セキュリティ対策の強化							
当該項目の重要度、難易度		関連する政策評価・行政事業レビュー	行政事業レビューシート事業番号:0134				

2. 主要な経年データ								
評価対象となる指標	達成目標	基準値	X1年度	X2年度	X3年度	X4年度	X5年度	(参考情報)

3.	各事業年度の業務に	工係る目標、計画、業務実績、	年度評価に係る自	己評価及び主務大臣による評価			
	中期目標	中期計画	年度計画	主な評価指標	法人の業務実	績・自己評価	主務大臣による評価
					業務実績	自己評価	
	4 情報セキュリテ	4 情報セキュリティ対策の	4 情報セキュリ	指標=「小項目の項目数×2」(満点)に対する	<主要な業務実績>	<評定と根拠>	評定 B
	ィ対策の強化	強化	ティ対策の強化	「各小項目の点数の合計値」(合計点) の比率 各	◇情報セキュリティ対策	ГВЈ	<評定に至った理由>
	〈以下略〉	政府機関の情報セキュリテ	〈以下略〉	小項目の評価点数の区分は以下のとおりとする。	2/2(B)	満点: 4 P(小項目2×2 P)	以下のとおり、下位の評価
		ィ対策のための統一基準群を		S評価:4点、A評価:3点、B評価:2点、C	◇情報セキュリティに関する	合計: 4 P	項目である小項目の合計点が
		踏まえ、関係規程を整備すると		評価:1点、D評価:0点	教育・訓練 2/2(B)	4 P/4 P=1.0	B 評定の判定基準内(満点×
		ともに、情報セキュリティ・ポ				(10/10)	8/10≦合計点<満点×12/10)
		リシーを適時適切に見直し、こ		A:満点×12/10≦合計点			であったため。
		れに基づき適切に情報セキュ		B:満点×8/10≦合計点<満点×12/10			満点:4点(小項目2×2点)
		リティ対策を講じ、情報システ		C:満点×5/10≦合計点<満点×8/10			合計点:4点=(2点×2)
		ムに対するサイバー攻撃への		D:合計点≦満点×5/10			4 点/4 点= 1.0
		防御力、攻撃に対する組織的対					
		応能力の強化に取り組む。ま					◇情報セキュリティ対策 2点(B)
		た、対策の実施状況を毎年度、					◇情報セキュリティに関する教
		把握し、外部専門家の指摘を踏					育・訓練 2 点(B)
		まえつつ、PDCAサイクルに					
		より情報セキュリティ対策の					
		改善を図る。					

4. その他参考情報			

1. 当事務及び事業に関する基本情報								
第8-4-(1)	第8 その他業務運営に関する事項 4 情報セキュリティ対策の	強化 (1)情報セキュリティ対策						
当該項目の重要度、難易度		関連する政策評価・行政事業レビュー	行政事業レビューシート事業番号:0134					

2									
	評価対象となる指標	達成目標	基準値	X1年度	X2年度	X3年度	X4年度	X5年度	(参考情報)

3	. 各事業年度の業務に	に係る目標、計画、	業務実績、年度評	価に係る自己評価及び	び主務大臣による評価			
	中期目標	中期計画	年度計画	主な評価指標	法人の業務等	実績・ 自己評価	主務大臣による評	严価
					業務実績	自己評価		
			(1)情報セキュ	S:計画を大きく上回	<主要な業務実績>	<評定と根拠>	評定	В
			リティ対策	り、かつ顕著な成果	情報セキュリティに係	ГВ Л	<評定に至った理由>	
			政府関係の情報	が得られた。	る対応については、外部	根拠:計画どおり実施した。	政府機関の情報セキュリティ対策のた	めの統一基準群の改正を踏
			セキュリティ対策	A:計画を上回る成果	専門家の指摘を踏まえ		まえ、計画どおり、情報セキュリティの	確保に必要な取組を行った
			のための統一基準	が得られた。	て、必要な対応や手順を		ことから「B」評定とした。	
			群を踏まえて平成	B:計画どおり順調に	見直すなど、計画どおり			
			28 年に改正した規	実施された。	実施した。			
			程に基づき、対処	C:計画どおり実施さ				
			体制、手順書等の	れず改善を要する。				
			見直しを行うとと	D:計画どおり実施さ				
			もに、対策の実施	れず当該業務の廃				
			状況及び外部専門	止を含めた抜本的				
			家の指摘を踏まえ	な改善が必要と認				
			つつ、PDCAサ	められる。				
			イクルによりセキ					
			ュリティ対策の見					
			直しを行う。					

4. その他参考情報			

1. 当事務及び事業に関する基本情報									
第8-4-(2)	第8 その他業務運営に関する事項 4 情報セキュ	リティ対策の強化 (2)情報セキュリティに関する教育・訓練							
当該項目の重要度、難易度		関連する政策評価・行政事業レビュー 行政事業レビューシート事業番号:0134							

2. 主要な経年データ										
評価対象となる指標	達成目標	基準値	X1年度	X2年度	X3年度	X4年度	X5年度	(参考情報)		

•	3. 各事業年度の業務に係る目標、計画、業務実績、年度評価に係る自己評価及び主務大臣による評価										
	中期目標	中期計画	年度計画	主な評価指標	法人の業務実績・自	1己評価	主務大臣による評価				
					業務実績	自己評価					
			(2)情報セキュリティに関	S:計画を大きく上回り、かつ	<主要な業務実績>	<評定と根拠>	評定 B				
			する教育・訓練	顕著な成果が得られた。	情報システムに対するサイバー攻撃	∟ B ⊃	<評定に至った理由>				
			情報システムに対するサイ	A:計画を上回る成果が得られ	への防御力、攻撃に対する組織的対応	根拠:計画どおり実施し	各種研修等を通じた情報セキュリティ				
			バー攻撃への防御力、攻撃に	た。	能力の強化を図るため、本所各部及び	た。	規定等の周知等の取組が行われたことか				
			対する組織的対応能力の強化	B:計画どおり順調に実施され	各場の情報セキュリティ責任者を対象		ら「B」評定とした。				
			を図るため、新規採用時、研	た。	とした研修、事務担当者を対象とした						
			修会、情報セキュリティ監査	C:計画どおり実施されず改善	研修、新規採用者等を対象とした研修、						
			等において、情報セキュリテ	を要する。	全職員を対象とした標的型攻撃メール						
			ィに関する関係規程等の周知	D:計画どおり実施されず当該	に対する教育を行うなど、計画どおり						
			や教育、また、標的型攻撃メ	業務の廃止を含めた抜本的な	実施した。						
			ールに対する訓練を行う。	改善が必要と認められる。							

4. その他参考情報			

1. 当事務及び事業に関する基本情報									
第8-5	第8 その他業務運営に関する事項 5 環境対策・安全管理の推進	重							
当該項目の重要度、難易度		関連する政策評価・行政事業レビュー	行政事業レビューシート事業番号:0134						

2. 主要な経年データ									
評価対象となる指標	達成目標	基準値	X1年度	X2年度	X3年度	X4年度	X5年度	(参考情報)	

3.	各事業年度の業務に	上係る目標、計画、業務実績	責、年度評価に係る自己評(価及び主務大臣による評価				
	中期目標	中期計画	年度計画	主な評価指標	法人の美	業務実績	・自己評価	主務大臣による評価
					業務実績		自己評価	
	5 環境対策・安全	5 環境対策・安全管理の	5 環境対策・安全管理の	指標=「小項目の項目数×2」(満点) に	<主要な業務実績>		<評定と根拠>	評定 B
	管理の推進	推進	推進	対する「各小項目の点数の合計値」(合計	◇環境対策の推進		ГВ Ј	<評定に至った理由>
			〈以下略〉	点)の比率 各小項目の評価点数の区分は		2/2(B)	満点:4 P(小項目2×2 P)	以下のとおり、下位の評価
				以下のとおりとする。	◇安全管理の推進		合計:4P	項目である小項目の合計点
				S評価:4点、A評価:3点、B評価:2		2/2(B)	4 P / 4 P = 1.0	が B 評定の判定基準内(満点
				点、C評価:1点、D評価:0点			(10/10)	× 8/10 ≦ 合 計 点 < 満 点 ×
								12/10)であったため。
				A:満点×12/10≦合計点				満点:4点(小項目2×2点)
				B:満点×8/10≦合計点<満点×12/				合計点:4点=(2点×2)
				1 0				4 点/4 点= 1.0
				C:満点×5/10≦合計点<満点×8/1				◇環境対策の推進 2 点(B)
				0				◇安全管理の推進 2 点(B)
				D:合計点≦満点×5/10				

4. その他参考情報			

1. 当事務及び事業に関する基本情報									
第8-5-(1)	第8 その他業務運営に関する事項 5 環境対策・安全管理の推議	生 (1)環境対策の推進							
当該項目の重要度、難易度		関連する政策評価・行政事業レビュー	行政事業レビューシート事業番号:0134						

2	. 主要な経年データ								
	評価対象となる指標	達成目標	基準値	X1年度	X2年度	X3年度	X4年度	X5年度	(参考情報)

中期目標	中期計画	年度計画	主な評価指標	法人の業務実績・自己	評価	主務大臣による評
				業務実績	自己評価	価
	(1)環境対策の推進	(1)環境対策の推進	S:計画を大きく上回り、かつ	<主要な業務実績>	<評定と根拠>	評 B
	労働安全衛生法(昭和47年法	労働安全衛生法(昭和 47 年法律第 57	顕著な成果が得られた。	法令に基づいた特定化学物質等の環境	∟ B ⊺	定
\	律第57号)等に基づく化学物質、	号) 等に基づく化学物質、生物材料等の適	A:計画を上回る成果が得られ	測定の実施又は定期的な職場巡視による	根拠:計画どおり実施	<評定に至った理
	生物材料等の適正管理や必要な	正管理や必要な作業環境測定を実施する	た。	作業環境の点検を実施するなど、業務活動	した。	由>
	作業環境測定を実施するなどに	などにより、業務活動に伴う環境への影響	B:計画どおり順調に実施され	に伴う環境への影響に十分な配慮をした。		計画どおり取組
	より、業務活動に伴う環境への影	に十分な配慮を行うとともに、エネルギー	た。	また、グリーン購入の推進の方針を策		が行われたことか
	響に十分な配慮を行うとともに、	の使用の合理化等に関する法律(昭和 54	C:計画どおり実施されず改善	定・公表し、適合商品の積極的な購入、電		ら「B」評定とし
	環境負荷低減のためのグリーン	年法律第49号) に基づく特定事業者とし	を要する。	気使用量等の推移に係る職員への周知、裏		た。
	購入の推進や各事業所が作成す	て、環境負荷低減のためのグリーン購入の	D:計画どおり実施されず当該	紙使用、リサイクル専用棚の設置等、エネ		
	る業務効率化実施計画に基づい	推進や各事業場が作成する業務効率化実	業務の廃止を含めた抜本的な	ルギーの有効利用、リサイクルの促進等に		
	た実態に即した省エネ対策等を	施計画に基づいた実態に即した省エネ対	改善が必要と認められる。	積極的に取り組んだ。さらに、環境報告書		
	実施するなど、エネルギーの有効	策等を実施するなど、エネルギーの有効利		を作成し公表した。		
	利用及びリサイクルの促進等に	用及びリサイクルの促進等に積極的に取				
	積極的に取り組む。	り組む。				
		また、環境情報の提供の促進等による特				
		定事業者等の環境に配慮した事業活動の				
		促進に関する法律(平成 16 年法律第 77				
		号) に基づき、環境報告書を作成し公表す				
		る。				

4. その他参考情報		

1. 当事務及び事業に関する基本情報									
第8-5-(2)	第8 その他業務運営に関する事項 5 環境対策・安全管	F理の推進 (2)安全管理の推進							
当該項目の重要度、難易度		関連する政策評価・行政事業レビュー	行政事業レビューシート事業番号:0134						

2	2. 主要な経年データ								
	評価対象となる指標	達成目標	基準値	X1年度	X2年度	X3年度	X4年度	X5年度	(参考情報)

中期目標	中期計画	年度計画	主な評価指標	法人位	の業務実績・	自己評価	主務大臣による評価	
				業務実績		自己評価		
	(2) 安全管理の	(2) 安全管理の	指標=「細項目の項目	□安全衛生施策の実施	2/2(B)	<評定と根拠>	評定 B	
\	推進	推進	数×2」(満点) に対	□緊急時の体制等	2/2(B)	ГВЈ	<評定に至った理由>	
	安全衛生面に関	〈以下略〉	する「細項目の点数の			満点: 4 P (細項目 2 × 2 P)	以下のとおり、下位の評価	5項目である約
	わる事故等を未然		合計値」(合計点)の			合計: 4 P	項目の合計点が B 評定の判	定基準内(満点
	に防止するための		比率			4 P / 4 P = 1.0	×8/10≦合計点<満点×1	2/10)であった
	管理体制を構築す		各細項目の評価点			(10/10)	ため。	
	るとともに、災害		数の区分は以下のと				満点:4点(細項目2×2点	()
	等による緊急時の		おりとする。				合計点:4点=(2点×2)	
	体制や対策の整備		S評価:4点、A評				4 点/4 点= 1.0	
	を進める。		価:3点、B評価:2				□安全衛生施策の実施	2 点(B
			点、				□緊急時の体制等	2 点(B
			C評価:1点、D評					
			価:0点					
			A:満点×12/10					
			≦合計点					
			B:満点×8/10≦					
			合計点<満点×12/					
			1 0					
			C:満点×5/10≦					
			合計点<満点×8/1					
			0					
			D:合計点≦満点×5					
·			/10					

4. その他参考情報			

1. 当事務及び事業に関する基本情報									
第8-5-(2)-ア	第8 その他業務運営に関する事項 5 環境対策	・安全管理の推進 (2)安全管理の推進 ア 安全衛生施策の実施							
当該項目の重要度、難易度		関連する政策評価・行政事業レビュー 行政事業レビューシート事業番号:0134							

2	2. 主要な経年データ								
	評価対象となる指標	達成目標	基準値	X1年度	X2年度	X3年度	X4年度	X5年度	(参考情報)

3. 各事業年度(の業務に係る目標、計画、	業務実績、年度評価に	係る自己評価及び主務大臣による	評価		
中期目	標 中期計画	年度計画	主な評価指標	法人の業務実績・自己評価		主務大臣による評価
				業務実績	自己評価	
		ア 安全衛生施策の実	S:計画を大きく上回り、かつ顕著な	<主要な業務実績>	<評定と根拠>	評定 B
		施	成果が得られた。	平成29年4月に安全対策推進本部において、事	ГВЈ	<評定に至った理由>
		安全衛生面に関わる	A:計画を上回る成果が得られた。	業場の長が実施すべき具体的施策の安全衛生年間	根拠:計画どお	計画どおり取組が行われたことから
		事故等を未然に防止す	B:計画どおり順調に実施された。	計画書の策定、安全衛生管理体制の整備、安全衛生	り実施した。	「B」評定とした。
		るため、年度当初に安	C:計画どおり実施されず改善を要す	教育計画及び職場の安全衛生と作業環境の確保に		
		全衛生施策を推進する	る。	ついて定め、また、毎月、安全衛生委員会を開催す		
		ための年間計画を策定	D:計画どおり実施されず当該業務の	るなど、安全衛生面に関わる事故等を未然に防止す		
		し、計画に沿って声か	廃止を含めた抜本的な改善が必要	る施策を実施した。		
		け安全パトロール及び	と認められる。			
		安全衛生教育を重点に				
		安全衛生施策を実施す				
		る。				

4. その他参考情報			

1. 当事務及び事業に関する基本情報									
第8-5-(2)-イ	第8 その他業務運営に関する事項 5 環境対策・安全を	管理の推進 (2)安全管理の推進 イ 緊急時の体制等							
当該項目の重要度、難易度		関連する政策評価・行政事業レビュー 行政事業レビューシート事業番号:0134							

2	2. 主要な経年データ								
	評価対象となる指標	達成目標	基準値	X1年度	X2年度	X3年度	X4年度	X5年度	(参考情報)

ć	3. 各事業年度の業務に係る目標、計画、業務実績、年度評価に係る自己評価及び主務大臣による評価										
	中期目標	中期計画	年度計画	主な評価指標	法人の業務実績・自己評価	fi .	主務大臣による評価				
					業務実績	自己評価					
			イ 緊急時の体制	S:計画を大きく上回り、かつ顕著な成果	<主要な業務実績>	<評定と根拠>	評 B				
			等	が得られた。	災害等による緊急時の連絡網について人事異動等	∟ B ⊺	定				
			災害等による緊	A:計画を上回る成果が得られた。	に伴う修正を適宜行い、職員に周知した。また、自然	根拠:計画どおり実施し	<評定に至った理由>				
			急時の連絡体制を	B:計画どおり順調に実施された。	災害発生により職員等の安否確認、建物被害状況把握	た。	計画どおり取組が行われ				
			整備するととも	C:計画どおり実施されず改善を要する。	等が必要な場合は、被害状況を取りまとめ役員に報告		たことから「B」評定とした。				
			に、職員に周知す	D:計画どおり実施されず当該業務の廃止	するなど、適切に対応した。						
			る。	を含めた抜本的な改善が必要と認めら							
				れる。							

4. その他参考情報			

1. 当事務及び事業に関	する基本情報		
第8-6	第8 その他業務運営に関する事項 6 施設・設備の整備に関する	5計画	
当該項目の重要度、難易度		関連する政策評価・行政事業レビュー	行政事業レビューシート事業番号:0134

2. 主要な経年データ									
評価対象となる指標	達成目標	基準値	X1年度	X2年度	X3年度	X4年度	X5年度	(参考情報)	

中期目標	中期計画	年度計画	主な評価指標	法人の業務等	実績・自己評価	主務大臣による評価	
				業務実績	自己評価		
	6 施設・設備の	6 施設・設備の	A:難易度が高い計画	<主要な業務実績>	<評定と根拠>	評定	В
	整備に関する計画	整備に関する計画	であったが順調に	宮崎牧場において直接	ГВ∣	<評定に至った理由>	
	第4期中期目標	第4期中期計画	実施した。	検定豚舎の新設工事を行	根拠:計画どおり実施した。	計画どおり計画的な施設・設備の整備・	・改修が行われたことから
	の達成及び安全か	の達成及び安全か	B:計画どおり順調に	った。		「B」評定とした。	
	つ効率的な業務実	つ効率的な業務実	実施された。				
	施を確保するた	施を確保するた	C:計画どおり実施さ				
	め、業務実施上の	め、業務実施上の	れず改善を要する。				
	必要性及び既存施	必要性及び既存施	D:計画どおり実施さ				
	設・設備の老朽化	設・設備の老朽化	れず抜本的な改善が				
	等を勘案して、施	等を勘案して、施	必要と認められる。				
	設・設備を計画的	設・設備を計画的					
	に整備・改修する。	に整備・改修する。					

4. その他参考情報			

1. 当事務及び事業に関する基本情報										
第8-7	第8 その他業務運営に関する事項 7 積立金の処分に関する事項	Į								
当該項目の重要度、難易度		関連する政策評価・行政事業レビュー	行政事業レビューシート事業番号:0134							

2. 当	主要な経年データ								
評	価対象となる指標	達成目標	基準値	X1年度	X2年度	X3年度	X4年度	X5年度	(参考情報)

3.	3. 各事業年度の業務に係る目標、計画、業務実績、年度評価に係る自己評価及び主務大臣による評価										
	中期目標	中期計画	年度計画	主な評価指標	法人の業務等	実績・自己評価	主務大臣による評価				
					業務実績	自己評価					
		7 前期中期目標	7 前期中期目標	A:難易度が高い計画	<主要な業務実績>	<評定と根拠>	評定 B				
		期間繰越積立金	期間繰越積立金	であったが順調に	前中期目標期間繰越積	ГВЈ	<評定に至った理由>				
		は、前期中期目標	は、前期中期目標	実施した。	立金は、平成29年度に	根拠:計画どおり実施した。	計画どおり、前中期目標期間繰越積立金を当期中期目標へ繰り越				
		期間中に自己収入	期間中に自己収入	B:計画どおり順調に	費用化されたものに充当		した有形固定資産の減価償却に要する費用に充当したことから「B」				
		財源で取得し、当	財源で取得し、当	実施された。	した。		評定とした。				
		期中期目標期間へ	期中期目標期間へ	C:計画どおり実施さ							
		繰り越した有形固	繰り越した有形固	れず改善を要する。							
		定資産の減価償却	定資産の減価償却	D:計画どおり実施さ							
		に要する費用等に	に要する費用等に	れず抜本的な改善							
		充当する。	充当する。	が必要と認められ							
				る。							

4. その他参考情報			